

第3 特定健康診査・特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防事業

1 特定健康診査

- (1) 対象者：瀬戸市国民健康保険加入者 40歳～74歳
- (2) 実施期間：6月～10月
- (3) 実施形態：瀬戸旭医師会員で特定健康診査の実施できる医療機関
- (4) 周知方法：対象者全員に受診券の郵送
- (5) 受診者数・受診率

年度	対象者数	受診者数（人）			受診率（％）	
		40～64歳	65～74歳	合計	法定報告	市町村国保平均
5	14,628	1,682	4,432	6,114	41.8	39.2
6	13,611	1,740	4,145	5,885	43.2	40.8
7	15,339	2,013	4,777	6,790	44.3	—

- ※ 令和5年度及び令和6年度は法定報告値につき年度中の資格取得・喪失者は除く。
 ※ 令和7年度の受診率は暫定受診率
 ※ 令和7年度は令和8年4月末現在国保連合会受理状況（年度中、資格異動者含む。）

(6) 特定健康診査結果有所見状況

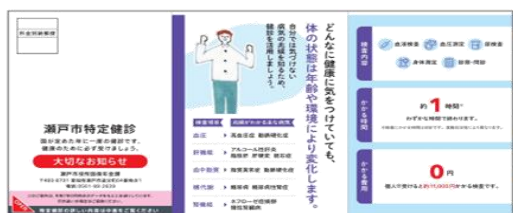
	瀬戸市			愛知県			国		
	R 5	R 6	R 7	R 5	R 6	R 7	R 5	R 6	R 7
血糖・血圧	2.00%	1.70%	2.30%	2.80%	2.90%	2.90%	2.90%	2.90%	2.80%
血糖・脂質	1.30%	1.30%	1.40%	1.10%	1.10%	1.20%	1.00%	1.10%	1.10%
血圧・脂質	11.50%	11.90%	11.80%	10.10%	9.80%	10.10%	9.60%	9.70%	9.90%
血糖・血圧・脂質	6.80%	7.70%	7.60%	6.90%	7.20%	7.30%	6.60%	6.60%	6.70%

網掛けは瀬戸市が愛知県・国と比べて高い項目

(7) 受診勧奨

受診勧奨種類※		対象者数	受診者数	受診割合
頑張り屋	運動習慣があり、日々健康に気を遣っているため病気になる心配をしておらず、健診に行く意義を感じていないタイプ	1,029人	543人	52.80%
心配性	将来病気になることをとても心配しており、「健診に行く」と怖い病気が見つかりそうだから行きたくない」と思っているタイプ	1,353人	574人	42.40%
甘えん坊	不健康である自覚はあるが、今の生活に幸せを感じており、積極的に改善しようとは思っていないタイプ	1,539人	694人	45.10%
面倒くさがり屋	自分のことを健康だと思っており、健康に関する情報・健康診断に興味がないタイプ	1,361人	624人	45.80%
レセプトなし 未経験者		2,635人	105人	4.00%
レセプトあり 未経験者		3,667人	226人	6.20%
前年度国保加入者		903人	209人	23.10%

※ 過去の特定健康診査、レセプト等を総合的に勘案し、委託業者にて抽出条件を設定



2 特定保健指導

内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行うもの。対象者自らが生活習慣における課題を認識し、行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持できるようになることで生活習慣病を予防することを目的として実施する。

(1) 対象者

特定健康診査の結果、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上の者または腹囲は該当しないが、BMIが25以上で、以下①～④いずれかに該当する者。

- ① 血糖 空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上
 - ② 脂質 中性脂肪150mg/dl(随時中性脂肪175mg/dl)以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
 - ③ 血圧 収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
 - ④ 喫煙あり 血糖・脂質・血圧のリスクが1つ以上の場合カウント
- 生活習慣病のリスクに応じて「積極的支援」「動機付け支援」に区分する。
※ 質問票で把握した服薬中の者は、特定保健指導の対象としない。

(2) 実施期間：6月～翌年度6月

(3) 受診者数・受診率

年度	動機付け支援					積極的支援					保健指導 合計
	対象者数	利用者数	修了者数 (6か月後 評価まで)	利用率 (%)	終了率 (%)	対象者数	利用者数	終了者数	利用率 (%)	終了率 (%)	終了率 (%)
5	537	141	158	26.3	29.4	133	10	10	7.5	7.5	25.1
6	497	162	106	32.6	21.3	159	13	9	8.2	5.7	17.5
7	591	241	—	40.8	—	197	12	—	6.1	—	—

3 糖尿病性腎症重症化予防事業

(1) 受診勧奨

特定健康診査において、血糖値が基準値以上等で未治療と思われるハイリスク者に対して重症化を防ぐため医療受診勧奨を行う。

【対象者】

今年度特定健診を受診し、「糖尿病あり」に該当し未治療の者。

区分	人数
腎症4期(eGFR30mL/分/1.73m ² 未満)	0人
腎症3期(尿蛋白+以上かつeGFR30mL/分/1.73m ² 以上)	11人
腎症2期以下(尿蛋白±かつeGFR30mL/分/1.73m ² 以上)	13人
合計	24人

(2) 保健指導

ア 個別指導

糖尿病治療中で、腎機能低下が疑われるため、かかりつけ医が保健指導の実施が望ましいと判断し、対象者本人の同意が得られた者に対し、市の保健師等又は委託機関が一定期間(10月から翌年3月まで)保健指導を実施する。

	人数	割合
改善	2	13.3%
維持	9	60.0%
悪化	4	26.7%
途中終了	—	

対象者153名に通知し、15名参加。

イ グループ支援

特定健康診査の結果が糖尿病性腎症3期または2期に該当し、かかりつけ医が保健指導の実施が望ましいと判断し、対象者本人の同意が得られた者に対し、1月末から6月までの期間において全8回の教室を開催し、栄養・運動に関する講話や健康チェック等を実施する。

参加者自身が実施状況を振り返り、日常生活改善に繋がる支援を行っている。

【令和6年度からの継続者】

	人数	割合
改善	6	50.0%
維持	5	41.7%
悪化	1	8.3%

対象者113名に通知し、10名参加。